

学んできたことを表現する～里海学習発表会を通して～

1月31日、能登里海教育研究所の先生方、能登海上保安署の方々、小木中学校の1年生、小木子ども園の先生方、保護者の皆様にご参観いただき、里海学習発表会を開催しました。今年度は、1～6年生がそれぞれの里海活動で学んだことを発表し、質問や感想を伝え合いました。それぞれの学年の発表内容と、今年度の里海活動を通しての子どもたちの学びを紹介します。

1年生 生活科：ぼくたち、わたしたちの海の生き物仲良し大作戦！！

1年生は、自分たちで採集してきた生き物と仲良くなるために考えた作戦を発表しました。生き物の様子を伝えるために、生き物の真似をして、表現しました。どうしたら生き物が嬉しいと思ってくれるか考えて計画を立て、作戦を実行しました。生き物の様子を観察したり対話したりしました。生き物に親しむ面白さを感じることができました。



2年生 生活科：きらきら水族館ができるまで～めざせ！生き物はかせ～

2年生は、「きらきら水族館」をオープンさせるまでにどんな活動をしてきたのかをスライドで発表しました。海の生き物を採集して飼育し、お別れするまでを思い出しながら発表しました。大切にしていた生き物とお別れするときの手紙も発表し、生き物への思いも伝えることができました。本番では活動の様子を大きな声で発表することができました。



3年生 総合：小木の海を守るために～船と魚の学びを通して～

3年生は、船の仕組みや船で沖に出て感じたことの中から、沖と湾の波の高さの違いや、船のエンジンの大きさなど、自分たちで伝えたいことを選んで発表しました。また、あおさぎの乗船や、小木漁協の方の話から、能登半島地震が小木の海や漁業に影響があったことを知り、みんなに伝えることができました



4・5年生 総合：残そう袖ぎりこ祭り～祭りの魅力教えます～

4・5年生は、小木袖ぎりこ祭りについて調べたことを発表しました。きりこの絵や大きさ、宮上げなどについて、地域の人に聞いたり、自分が体験したことを思い出したりしながら、祭りに対する思いを深めていました。公民館長の話聞き、祭りを残そうという使命感が芽生えました。

4・5年生は、袖ぎりこ祭りについて、金沢市立大野町小学校の5年生に向けてもオンラインで発表しました。大野町小学校の5年生からは、「袖ぎりこ祭りを見てみたいと思いました。」「小木のことがよく分かりました。」などの感想をもらいました。



5年生 里海科で学んだこと

5年生の里海科では、陸の植物と海の植物の比較や教科書の漁場と地域の漁場のちがいなど、理科や社会科の学びをより深く学習しました。また、海岸清掃の活動を通し、海の生き物や環境を守ることの大切さに気付きました。



6年生 里海科・総合：能登の魅力を発信しよう

6年生は、総合的な学習の時間と里海科での学びを発表しました。それぞれの授業で学習したことを「能登の魅力」という視点で見たときに、どのような良さがあるのか考えて発表しました。特に、里海給食には、能登の魅力を詰め込むために、長い時間をかけて考えたり、試作をしたりしました。たくさんの方々の支えのおかげで完成することができました。

6年生が考案した里海給食は、里海学習発表会当日の給食で提供されました。6年生は、里海親子給食と題して、親子で給食を一緒に食べました。



「桜おすましを作って」

イカの胴体に入っている内臓を取り出すのがむずかしかったです。2、3日後に、作った塩イカを使った料理の桜おすましを作りました。イカを切るのが難しかったです。自分たちで作った桜おすましはとても美味しかったです。しかし、メガラスが一番美味しかった気がしました。メガラスをもう一度食べたいです。調理実習を手伝ってくださった出口さんに感謝しています。

六年 釣谷 碧心

～里海給食の献立～

- ・ご飯 ・タラのフライ
- ・カミカミサラダ・桜おすまし
- ・ヨーグルト いちごジャム添え



～6年生保護者の方の感想～

6年生が考えた献立の給食をおいしくいただきました。しっかり味付けしてあり、とてもおいしかったです。色々な食材が使われていて、目で見ても楽しめました。

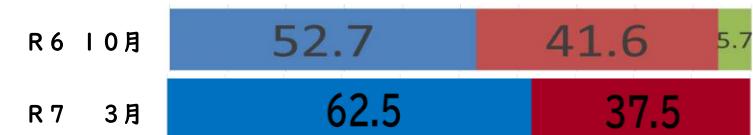
里海給食はとてもおいしかったです。さくらおすましというものを初めて食べましたが、やさしい味付けなので、家で作ってみたいと思いました。予算のことまで考えていたと聞き、すばらしいなと思いました。

<一年間をふりかえって>

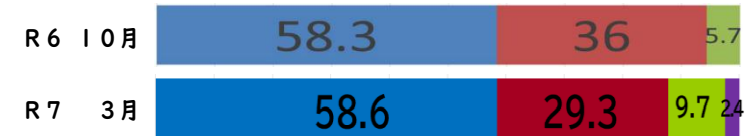
10月に実施したアンケートの課題である「里海学習で学んできた成果を発表することは楽しいですか。」に対して肯定的評価が79.0%から、85.9%と上がっています。「里海学習発表会で、見学したことや学んだことを発表したことが楽しかった。」「これまで学んできたことを知ってもらえる。」との意見もあり、里海学習発表会で発信するという目的をもって取り組むことで、児童の発表に対する思いが前向きになってきたことが分かります。しかし、「どうやって発表するのが分からない。」という意見もあり、考えのまとめ方や伝え方について、さらに力をつけなければなりません。以上のことをふまえ、来年度は、体験したり見学したりしたことをふりかえり、学びを整理することで、相手に伝える表現をすることを重点に、取り組んでいきたいと思います。

<里海アンケートの結果>

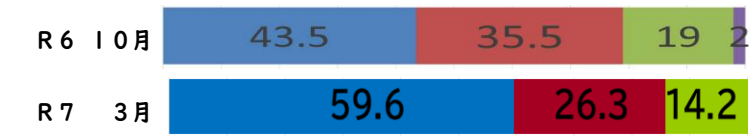
里海学習で、課題意識をもって、取り組んでいますか。



里海学習で、対話することで、学びが深まっていますか。



里海学習で、学んできた成果を発表することは楽しいですか。



あてはまる ややあてはまる

あまりあてはまらない あてはまらない